

ジェンダーの不平等

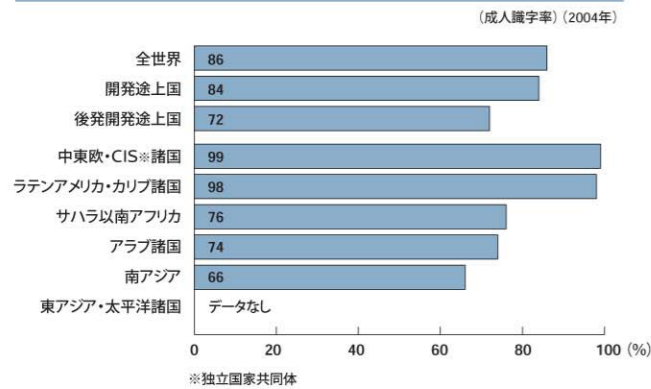


参考：国連開発計画 (UNDP)「人間開発報告書2006」、内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書 平成19年版」、ほか

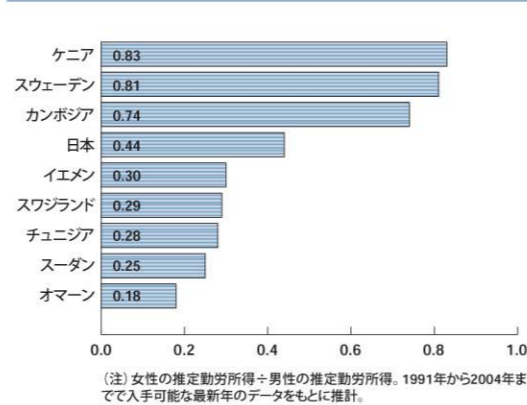
B 世界の女性をとりまく現状 DATA

出典：UNDP「人間開発報告書2006」、国連エイズ合同計画 (UNAIDS) / 世界保健機関 (WHO)「AIDS Epidemic Update: December 2006」、国連薬物犯罪事務所 (UNODC)「Trafficking in Persons: Global Patterns」

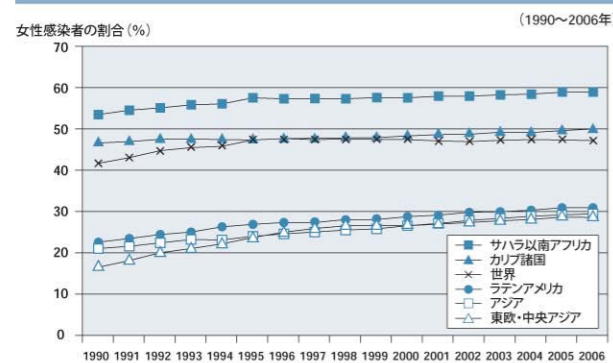
(グラフ1) 男性の識字率に対する女性の識字率の割合 (成人識字率) (2004年)



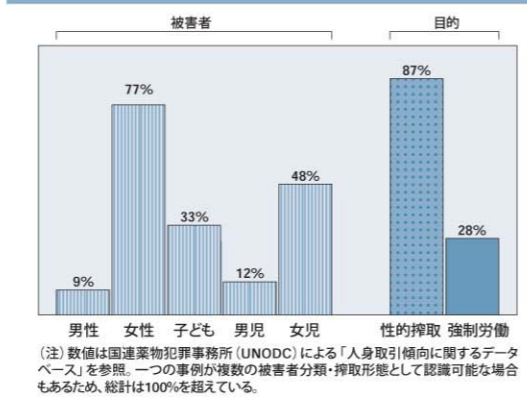
(グラフ2) 女性の男性に対する推定勤労所得比率



(グラフ3) 女性のHIV感染者の割合 (1990~2006年)



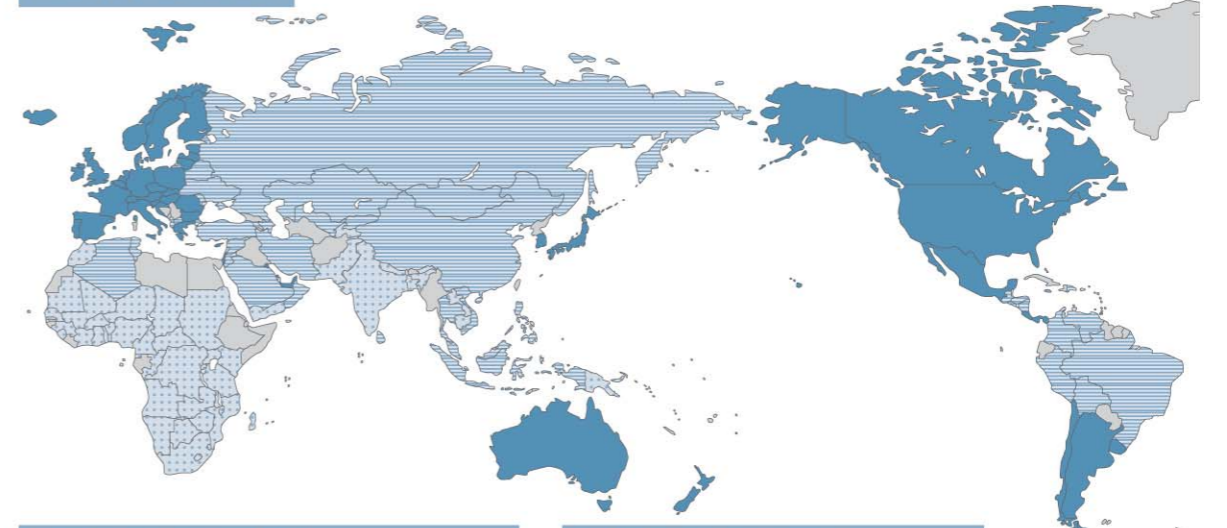
(グラフ4) 人身取引の被害者とその目的



A ジェンダー開発指数 (GDI) とジェンダー・エンパワーメント指数 (GEM) DATA

出典：国連開発計画 (UNDP)「人間開発報告書2006」

各国のジェンダー開発指数 (GDI)



GDI上位10位と下位10位 (136カ国中)

1位	ノルウェー (1)	127位	マラウイ (166)
2位	アイスランド (2)	128位	モザンビーク (168)
3位	オーストラリア (3)	129位	ブルンジ (169)
4位	アイルランド (4)	130位	コンゴ民主共和国 (167)
5位	スウェーデン (5)	131位	チャド (171)
6位	ルクセンブルク (12)	132位	中央アフリカ (172)
7位	カナダ (6)	133位	ブルキナファソ (174)
8位	アメリカ (8)	134位	マリ (175)
9位	オランダ (10)	135位	シエラレオネ (176)
10位	スイス (9)	136位	ニジェール (177)

(注) カッコ内は人間開発指数 (HDI) の順位 (177カ国中)。GDIは、男性および女性の「出生時平均余命」「成人識字率」「初・中・高等教育の総就学率」「推定勤労所得」をもとに測定される。日本のGDIは13位、HDIは7位。

GEM上位10位と下位10位 (75カ国中)

1位	ノルウェー	66位	パキスタン
2位	スウェーデン	67位	バングラデシュ
3位	アイスランド	68位	カンボジア
4位	デンマーク	69位	スリランカ
5位	ベルギー	70位	アラブ首長国連邦
6位	フィンランド	71位	イラン
7位	オランダ	72位	トルコ
8位	オーストラリア	73位	エジプト
9位	ドイツ	74位	サウジアラビア
10位	オーストリア	75位	イエメン

(注) GEMは、「女性の国会議員」「女性の議員、高官、管理職」「女性の専門職と技術職」「女性の男性に対する推定勤労所得比率」をもとに測定される。日本のGEMは42位。



あらゆる問題の背景にジェンダー不平等がある

「女子に教育は必要ない」などと公言する人は、今どき日本にはいないだろう。だが、世界には教育が受けられず、読み書きができない女性がたくさんいる。地域別では、特に南アジアやサハラ以南アフリカで男性に対する女性の識字率が低い。所得についても女性の推定勤労所得が男性より大きい国は世界に一つもない。

成人女性のHIV感染者は世界中で増加している。特に感染者の多いサハラ以南アフリカでは、2006年時点の感染者の59%が女性だった。女性や少女がその被害者

となりやすい人身取引 (トラフィッキング) など、女性に対する暴力も問題になっている。

世界の貧困層の7割が女性といった「貧困の女性化」をはじめ、女性のHIV感染増や暴力などの背景には、ジェンダーの不平等があるといわれている。また、女性の経済参加の機会が平等ではなく、女性の労働の多くが無報酬労働であり、その労働時間に見合う正当な評価を受けていないことも指摘されている。こうしたジェンダー問題の深刻さを踏まえ、あらゆる分野にジェンダーの視点を取り入れ、改善していく必要がある。

ジェンダー格差の大きい日本

国連開発計画 (UNDP) は1990年以来、各国の人間開発の平均的達成状況を表す「人間開発指数 (HDI)」※を発表している。95年からは「ジェンダー開発指数 (GDI)」と「ジェンダー・エンパワーメント指数 (GEM)」も測定されるようになった。

GDIは、HDIのもととなる指標における男女間格差を考慮して測定したもので、いわばジェンダーの不平等を調節したHDIともいえる。その数値は、ジェンダー格差が大きいほど低くなる。GEMは、政治と経済に女性

が積極的に参加しているかどうかを示す指標だ。

「人間開発報告書2006」での日本のHDI順位は7位だった。ところがGDIでは13位、GEMは42位と、ジェンダー格差を考慮すると順位が下がってしまう。さらに、世界経済フォーラムが発表した06年のジェンダー・ギャップ指数 (10ページ参照) は、115カ国中79位だった。所得水準を考慮しないジェンダー・ギャップ指数では、フィリピン (6位)、タンザニア (24位)、ウガンダ (47位) など、日本よりも政治・経済への女性の参画が進んだ「開発途上国」が多く見られる。

※HDIは「出生時平均余命」「成人識字率」「初・中・高等教育の総就学率」「1人当たり国内総生産」から複合的に測定される。